

【導入事例紹介】 物流支援ロボット CarriRo® 中国・京東集団、倉庫内物流作業効率化を目指し導入 — 作業者の負荷軽減、省人化によるコスト削減へ —

株式会社 ZMP(東京都文京区、代表取締役社長:谷口 恒、以下 ZMP)が販売する物流支援ロボット CarriRo(キャリロ)が、中国最大級の小売り事業者である京東集団において、倉庫や店舗での物流作業効率化を目指し導入されました。この度、弊社ウェブサイトにて事例を公開いたしましたので、お知らせいたします。

【CarriRo 導入事例紹介】 中国・京東集団

https://www.zmp.co.jp/carriro/detail_jingdong.html

京東集団は1998年に北京で設立、2014年に米国ナスダックに上場、現在は世界のECマーケットシェアで上位10社に入っています。ECモール運営とオンラインでの直販を行い、従業員14万人、ユーザー約2億6千万人を誇る成長企業で、2016年の総取引額は約15.8兆円、日本製品の売上も前年比で110%以上増加。同社最大の株主である中国テンセントとのコラボレーション戦略で、同社がリーチできる潜在的ユーザーは9億人以上に上ります。また、ビッグデータの活用でECとSNSのデータを統合した販促提案を行うなど、ビジネス拡大に向けて環境整備を進めています。

京東 X 事業部のプロジェクトマネージャー朱国强氏は、CarriRo 導入の背景について、「AI技術の発展と推進」、「業務負荷の増加と人件費の向上への対策」、「技術連携の探索」を挙げられています。CarriRo 導入によって、倉庫内の作業者の負荷軽減が期待されます。また、「今後、京東の手掛ける無人スーパー向け自動カート(スーパーカート)との連携も視野に、技術連携の可能性を検討してゆきたい」とコメントされています。



【CarriRo について】

CarriRo はジョイスティックによる操作ができるドライブモード、およびビーコン(発信機)を自動追従するカルガモモードを有した台車型物流支援ロボットです。充電式で最大150kgの荷物を8時間連続で運ぶことができ、倉庫や物流センター内のピッキング業務の効率化や、工場内の工程間搬送において利用されています。

[ウェブサイト] <https://www.zmp.co.jp/carriro/> [動画] <https://youtu.be/eaEgAVD4FXU>

【価格】

5年リース 月額28,000円(税別) / 1台

【本件に関するお問合せ】

株式会社 ZMP CarriRo 事業部 営業 新井/塚田

TEL: 03-5802-6901/FAX: 03-5802-6908 Mail: info@zmp.co.jp

【株式会社 ZMP】

<http://www.zmp.co.jp/>

本社: 東京都文京区





代表取締役社長：谷口 恒

「Robot of Everything 人が運転するあらゆる機械を自動化し、安全で、楽しく便利なライフスタイルを創造する」というミッションのもと、①ADAS(先進運転支援)、自動運転開発用プラットフォーム RoboCar®シリーズ及びセンサ・システム、②移動体メーカー(自動車、商用車、建設機械、農業機械、物流搬送機器、屋外作業機械等)向け自動運転等の開発支援、実験代行 RoboTest®, ③物流支援ロボット CarriRo®の開発・販売を行っています。また、2020 年の無人タクシー実現に向け、公道での技術及びサービスの実証実験を重ねています。2017 年からは日本初の歩道走行を目指す宅配ロボット CarriRo® Delivery の実証実験を開始いたしました。ZMP はこれからも世の中に感動を与える製品やサービスを提供してまいります。